

アドバイザー：益子 務

渡米中、ロジェ・ワグナー合唱団を経てバリトン歌手としても活躍。そのリサイタル、コンサートは世界各国に及び、アメリカではニューヨーク、シカゴなど全米 42 州で、リサイタル、音楽祭、放送などに出演。ドイツではベルリン国際音楽祭、ドレスデン国際音楽祭などでリサイタルに出演し、イタリアではミラノ、トリノ、ローマ等々でリサイタルに出演。スペイン、フランス、オーストリア、ロシア、ポーランド等、ヨーロッパ各国の主要都市での演奏会に出演した。演奏活動はオペラの分野にも及び 1968 年から 2000 年にかけてアメリカの各地で、指揮者、ソリスト、演出家として活躍した。

日本でも、関西二期会、堺シティオペラ、大阪オペレッタ協会などで活躍。指揮者としても、ホワイトウォーター・オペラ(アメリカ)、モーツァルト室内管弦楽団・合唱団、西神戸混声合唱団客演指揮者、カメラータ・シンフォニカ・ボヘミア(チェコ)などを指揮。教育者・研究者としても幅広く活躍中。1977 年より武庫川女子大学音楽学部教授(声楽・音楽療法)。

バルセロナ市立音楽大学(スペイン)、ドレスデン国立歌劇場、ワイマール音楽大学(ドイツ)、ノヴォシビルスク国立グリニカ音楽大学(ロシア)などで客員教授として声楽を教える。日本音楽療法学会認定の音楽療法士でもあり、同分野の権威者でもある。音楽心理学、地下鉄道(Underground Railroad)に関する研究、ゴスペルの暗号(Underground Railroad)等々、多岐に亘る著書もある。

大阪シンフォニッククワイアは 2001 年 9 月から、その指導に当たっている。

